

# MAX

# 取扱説明書

プロ用

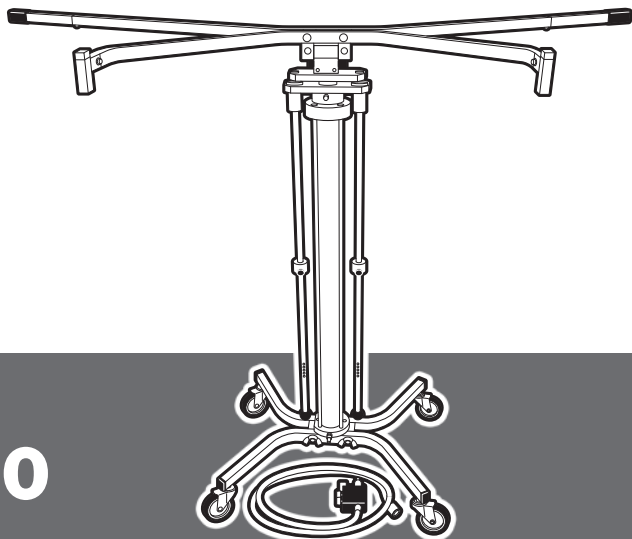
このたびは、マックスエアリフタをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

## ▲ 警告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



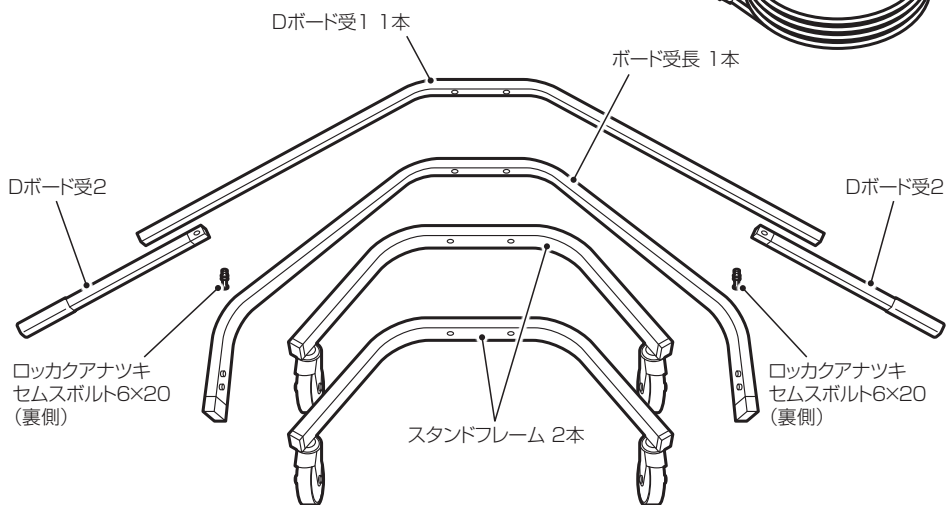
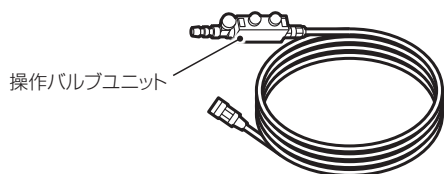
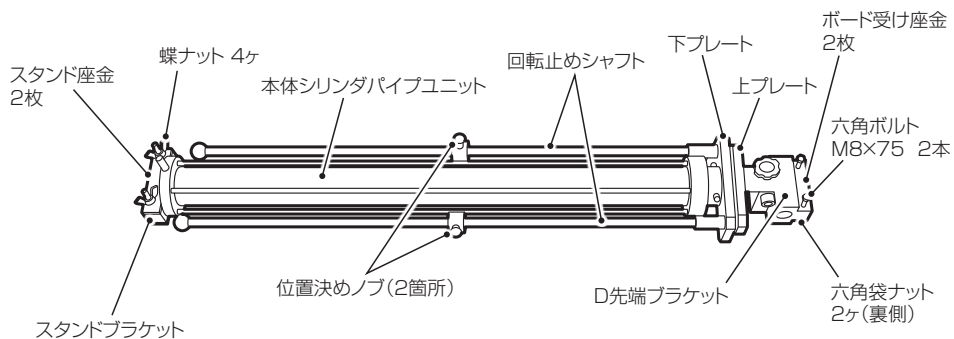
マックス エアリフタ  
**AL-2800**

# 目 次

---

各部の名称	3
安全作業のために	4~6
仕様及び装備品	7
組立て方法	8~10
スタンドフレームの組付け方法	8
ボード受けの組付け方法	9, 10
配管方法	11
使用方法	12~15
押し上げ高さの設定	12
ボードの乗せ方	13~15
保守・点検	16
保証、アフターサービスについて	17
保証について	17
アフターサービスについて	17

# 各部の名称



## ⚠ 安全作業のために

本機は、石膏ボードおよびそれに類した材料の天井材をボード受けに乗せて押し上げることを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### ■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**⚠ 警告**、**⚠ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 作 業 前



**警告**

作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて保護メガネ、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. 操作バルブのボタンはスムーズに動くか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス(株)へ点検・修理に出してください。

周囲に人がいないことを確認してから使用する。

本機はエアシリンダにより、石膏ボード、張り天ボード等を押し上げる工具です。ボード受けが上下しますので、近くに人がいると誤って本機に触れて怪我をする恐れがあり、危険ですので、周囲に人がいないことを確認してから作業を行ってください。

# ⚠ 安全作業のために

## ⚠ 警告

### エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

### エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. 操作バルブに触れない。

### エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはボード類を載せないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱に点検・修理に出してください。

### 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

## ⚠ 安全作業のために

### 作業中

#### ⚠ 警告

##### 使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.4～0.5MPa (約4～5kgf/cm<sup>2</sup>) です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.5MPa (約5kgf/cm<sup>2</sup>) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

##### 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物 (例:シンナー、ガソリン等) のそばで使うと引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

##### 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中の調整時は誤って作動すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

##### 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱に点検・修理に出してください。

### 作業後

#### ⚠ 警告

##### 作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

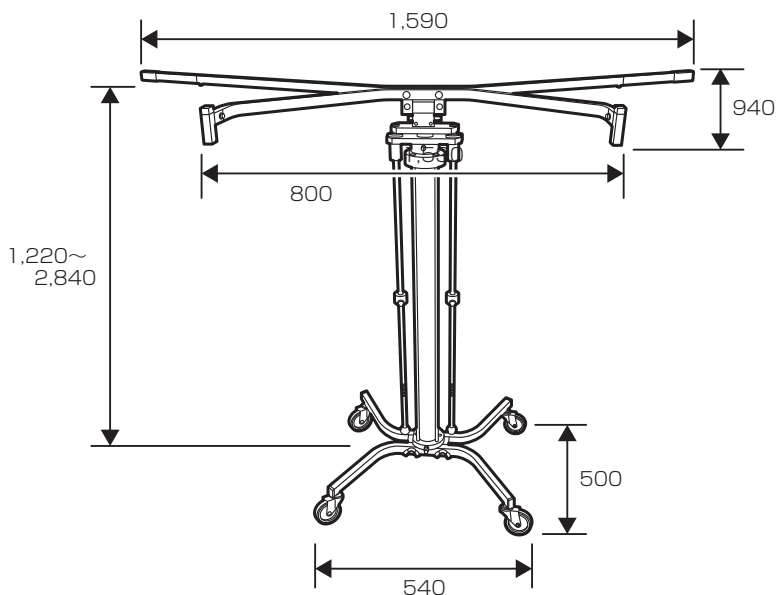
##### 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

# 仕様及び装備品

商 品 名	マックスエアリフタ
商 品 記 号	AL-2800
質 量	21kg
使 用 空 気 圧 範 囲	0.4~0.5MPa (約4~5kgf/cm <sup>2</sup> )
最 大 積 載 重 量	30kg以内
付 属 品	操作バルブユニット、エアホースφ6.5×3m×1本

## 〈寸法〉 (単位：mm)



## 〈積載可能物の目安〉

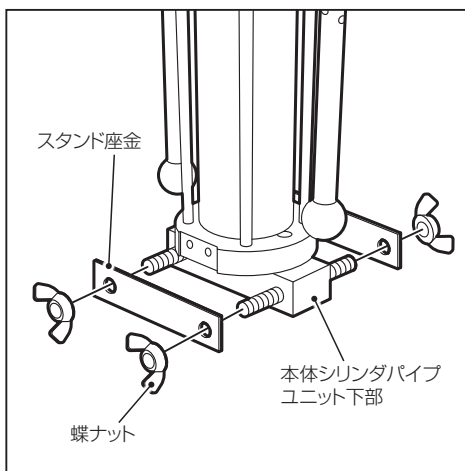
●最大積載重量は30kg以下です。積載可能物は下表を参考にしてください。

種 類	寸法 (mm)	厚み (mm)	数量 (枚)
石 膏 ボ ー ド	910×1,820	9.5	2
	910×1,820~2,420	12.5~15.0	1

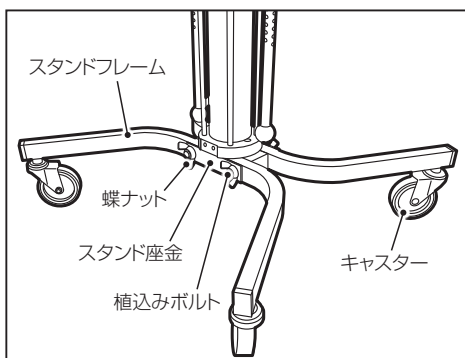
# 組立て方法

## スタンドフレームの組付け方法

- ① 本体シリンダパイプユニット下部の蝶ナット4ヶとスタンド座金2枚を取り外してください。



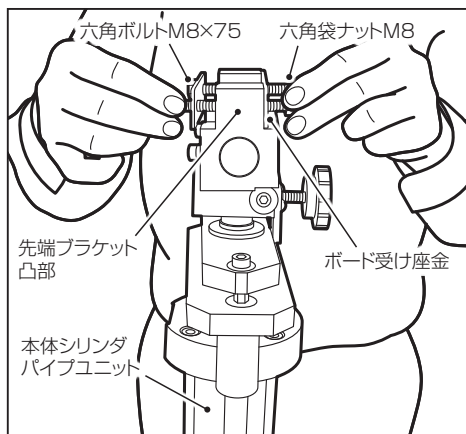
- ② 次にスタンドフレーム2本をそれぞれシリンダパイプユニット下部の植込みボルトに嵌め込み、スタンド座金を乗せ、蝶ナットを締め込み、しっかり固定してください。



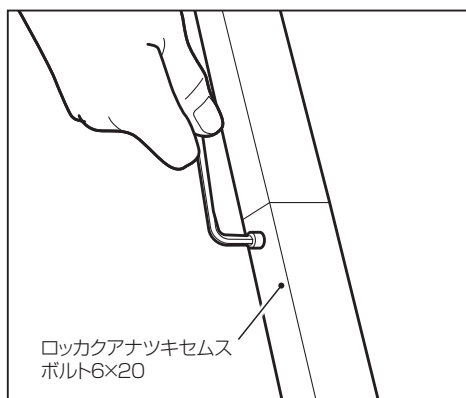
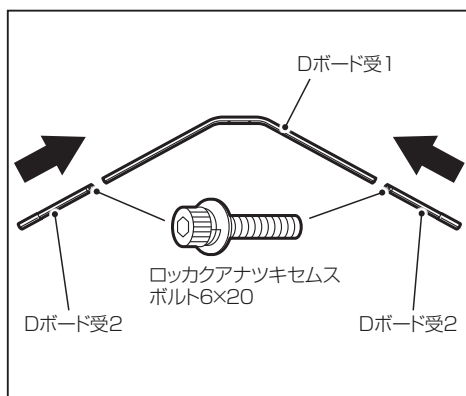


## ボード受けの組付け方法

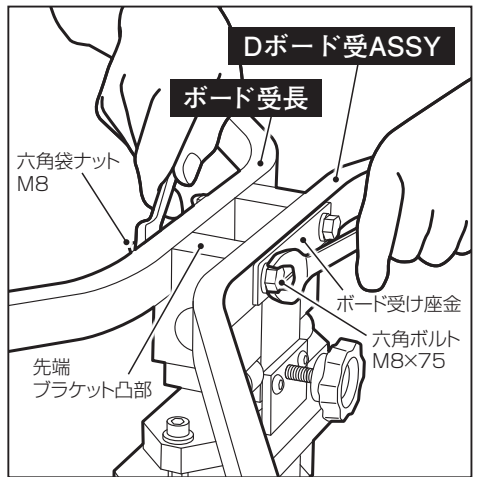
- ①先端ブラケット凸部の六角袋ナットM8 2枚をはずし、ボード受け座金2枚と六角ボルトM8×75・2本を取り外してください。



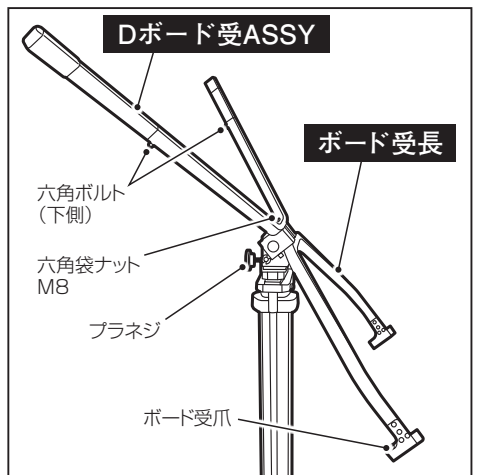
- ②Dボード受け2のロックアナツキセムスボルト6×20を取り外します。  
Dボード受け1の両端にDボード受け2を組み付け、ロックアナツキセムスボルト6×20で締め付けます。



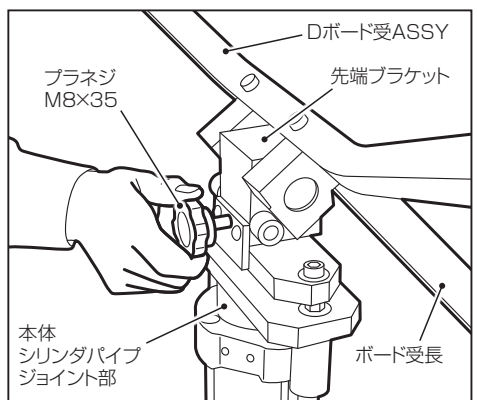
- ③次にボード受長とDボード受ASSYを先端ブラケット凸部に六角ボルトM8×75・2本で取付けてください。六角ボルトは、ボード受け座金2枚で両側をはさみ、六角袋ナットM8により締め込みます。スパナ等でしっかり固定してください。



この時、ボード受長とボード受の取り付け位置を間違わない様注意してください。Dボード受1とDボード受2を取り付けた六角ボルトが下側にくるようにしてください。



- ④プラネジM8×35を締め込み、本体シリンダパイプジョイント部と先端ブラケットをしっかりと固定してください。

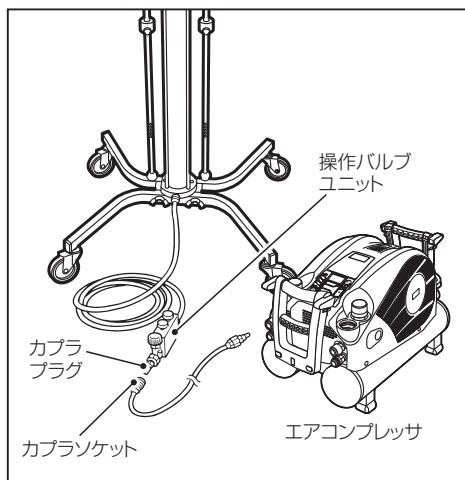


## 配管方法

操作バルブユニットにはエアホース3m  
カプラ付1本が配管されておりますので、  
右図の様に本体及びエアコンプレッサに  
配管してください。

右図の様に配管していないと誤動作の  
原因となります。

必ず右図の配管方法を行ってください。



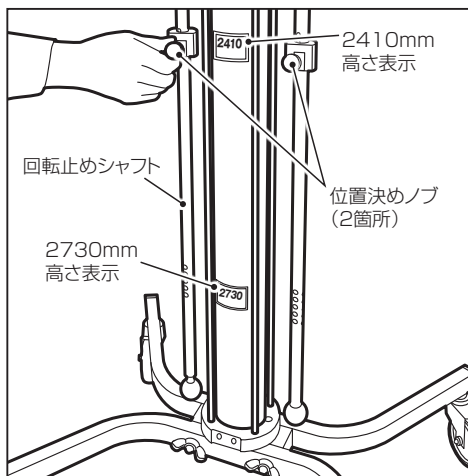
### ⚠ 警告

- エアホース接続の時は必ず厳守する。  
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。
  - 1.配管方法を必ず厳守する。絶対にエアコンプレッサからのエアホースを直接本体へはつながない。
  - 2.操作バルブのボタンに手を掛けない。
  - 3.本体のシリンダ上昇方向へは人体を向けない。
- 作業中断時は必ずエアホースをははずす。

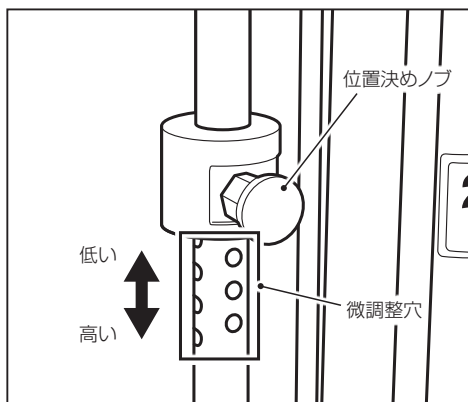
# 使用方法

## 押し上げ高さの設定

本機は天井材を押し上げる高さを約2410mmと約2730mmに設定できます。位置決めノブ(2箇所)を引っぱり、回転止めシャフトの高さ表示の位置に合わせて固定してください。

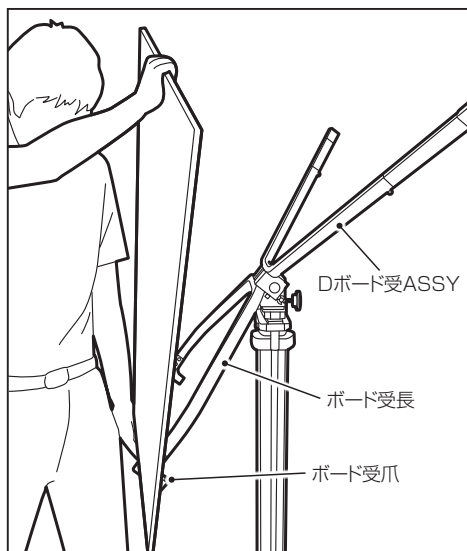


天井材が天井下地に押し付けられるほど上昇する場合は、位置決めノブを上側の微調整穴に合わせてください。逆に天井材が天井下地に届かずに隙間があく場合は、位置決めノブを下側の微調整穴に合わせてください。

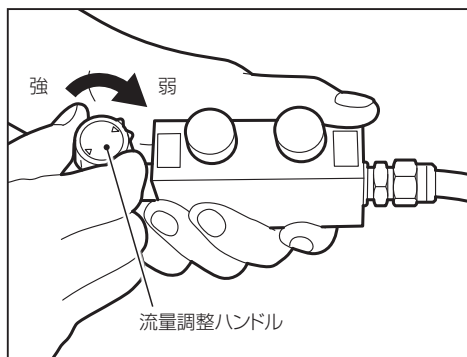


## ボードの乗せ方

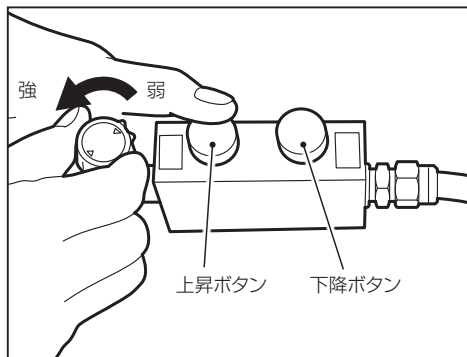
ボード受けは60°手前に傾斜出来ます。  
ボード受けを手前に倒してボードの端面を  
ボード受爪に当てて、天井ボードをバランス  
良く確実に乗せてください。乗せ終わったら  
ボード受けを水平の位置に戻してください。



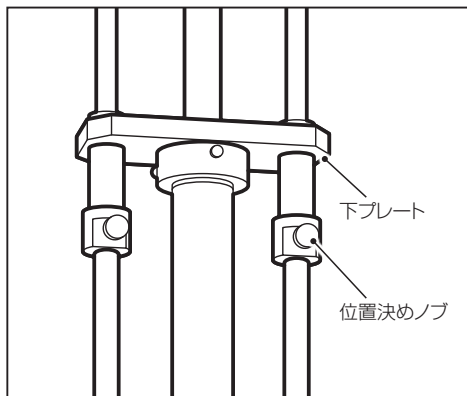
操作バルブユニットの流量調整ハンドルを  
「弱」の時計方向に止るまで回してください。



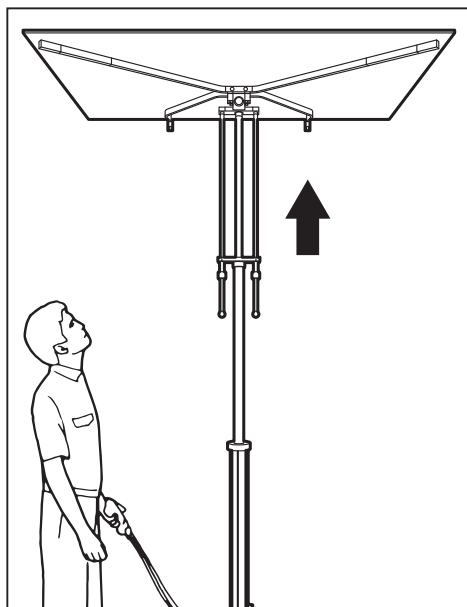
操作バルブユニットの上昇ボタンを押し  
ながら、流量調整ハンドルを反時計方向に  
回し、ボードの押し上げスピードを調整して  
ください。ボードの厚みや大きさによって  
重さが変わるとスピードも変化します。  
途中で停止させる場合は上昇ボタンを  
離せばその位置で停止します。



位置決めノブが下プレートに押し付けられたところで上昇ボタンを離してください。この時天井材が天井下地に押し付けられるほど上昇したり、逆に天井材が天井下地に届かず隙間があく場合は、押し上げ高さの設定 (P12) を行ってください。



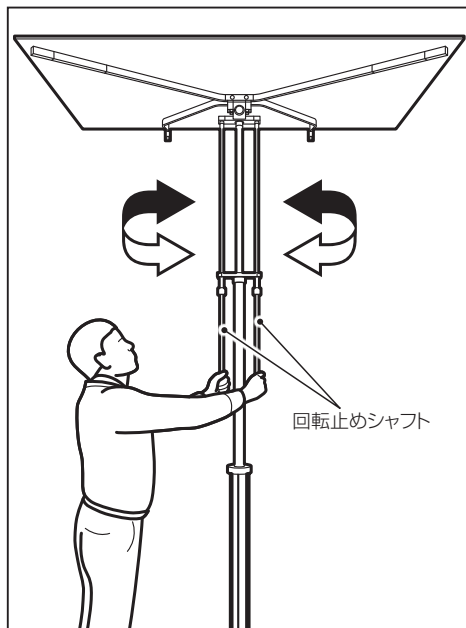
天井にボードが押し付けられたところで、上昇ボタンを離してください。この時、ボードを押し付け過ぎない様、目で確認しながら上昇させてください。



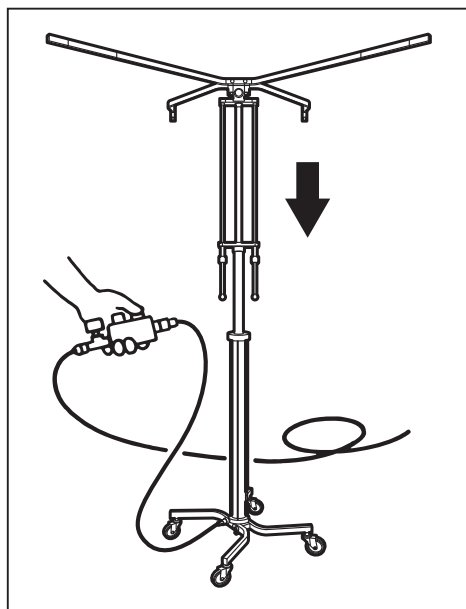
回転止めシャフトを操作し、ボードの位置合わせを行ってください。

**⚠ 注意**

- 天井材を天井下地に押し付けた状態で本機を動かさないでください。本機の故障の原因となります。



ボードの取付け作業（釘打作業、ネジ締め作業）が終わったら、操作バルブユニットの下降ボタンを押してリフトを下げてください。又、下降途中でリフトを停止する必要がある場合は、下降ボタンを離せば停止します。



# 保守・点検

## 本機を大切に使う

---

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。

## エアプラグキャップの使用法

---

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。

## エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

---

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

## 定期的に点検する

---

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。



# 保証、アフターサービスについて

## 保証について

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。

## アフターサービスについて

- 本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。  
修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。





●マックスお客様ご相談ダイヤル

0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

# マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙	支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千	営業所	〒284-0001	千葉県四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400
東	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
群	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
長	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
新	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
名	支店	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
静	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031
大	支店	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
京	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
神	営業所	〒901-2127	沖縄県浦添市屋富祖1-5-11	TEL (098) 875-3577
沖	営業所	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
広	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
福	支店	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
南九州	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
マックス販売株式会社	本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
埼	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
横	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
金	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
岡	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
四	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893
松	営業所			

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

AL10230  
190606-00/00



便利メモ

お名前				商品名	AL-2800
お買い上げ日	年	月	日	製造番号	
販売店名				☎	